

学認クラウドゲートウェイ サービスへの期待

京都府立大学 企画課情報担当
寺町 伸太郎

自己紹介

寺町 伸太郎 (てらまち しんたろう)

- 2000年 京都府立大学農学部卒
- 2015年～ 京都府立大学 企画課 情報担当
ネットワーク・アカウント管理担当がメイン
- 情報処理安全確保支援士 第018271号
- 趣味 鉄道、バス、自転車、読書

Mail: steramachi@kpu.ac.jp

京都府立大学のご紹介

- 文・公共政策・生命環境 3学部12学科
- 大学院 3研究科7専攻
- 学生1,875 院生242 教員153 職員57 (R1.5,非常勤除く)
- 下鴨キャンパス 京都市左京区
事務局・学部・教養教育共同化施設（府立医大・京都工芸繊維大）
- 精華キャンパス 京都府精華町〈けいはんな学研都市〉
農場・産学連携施設等
- 演習林 5カ所



学認クラウドゲートウェイサービスへの期待

- ◆2017年～「学認クラウド」参加
- ◆導入支援サービスの個別相談・セミナーは活用中
- ◆ゲートウェイ機能は、当初は導入を検討。
「当時は教員と学生でメニューを分けられない」
⇒2017の時点では見送り

本学は情報センターがなく、情報担当の嘱託2名・委託SE1名・府から派遣の正職員1名（他業務兼務）で対応

⇒当時は、細かな対応は困難という判断

学認クラウドゲートウェイサービスへの期待

「大学の抱えている課題」

- ◆ 教職員がそれぞれクラウドと契約して利用、大学として利用状況が把握できていない
- ◆ 契約・連携している外部サービスの広報不足で、活用されていない
- ◆ 利用できるサービスが多すぎて覚えられない

<https://cloud.gakunin.jp/cgw/> より

情報担当としてはどれも 「YES」

学認クラウドゲートウェイサービスへの期待

- ◆ 教職員がそれぞれクラウドと契約して利用していて大学として利用状況が把握できていない

それはそうなんだけど…利用状況の把握を事務局でどこまでするの？
研究者・学生ごとにニーズは異なる



事務局としては入口の提供にとどめる
プライベートサービスで自分のサービスの追加可能

学認クラウドゲートウェイサービスへの期待

- ◆ 契約・連携している外部サービスの広報不足で活用されていない

大学のサービスを
知っていただき
活用してほしい



セキュリティ上
学外者に一覧は
見せたくない

- 学内者だけがアクセスできるサービス
- 利用率の向上→更新・拡充予算の確保

学認クラウドゲートウェイサービスへの期待

- ◆ 契約・連携している外部サービスの広報不足で活用されていない

● 導線の一本化…利用者の心理的負担 ↓

SSOとの連携で
ますます便利
(GW自体はSSOではない)

GWを通すことで
セキュリティの
向上
(変なリンクを踏まない)

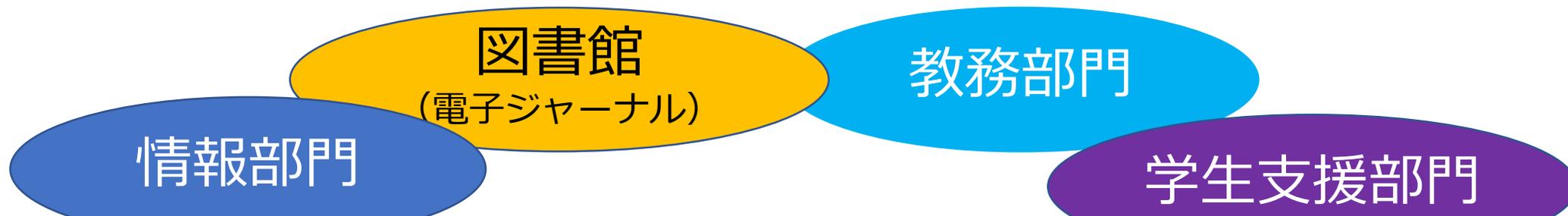
サポート側
の負担減少

学認クラウドゲートウェイサービスへの期待

◆利用できるサービスが多すぎて覚えられない

(そもそも) ぜんぶ覚えてもらう必要はない
サービスの一覧表があるとよい

情報部門以外に多数のサービス提供元



各システムの入口をゲートウェイサービスに一本化

学認クラウドゲートウェイサービスへの期待

管理運営側の視点から

サービスの一覧作成と周知・メンテの問題

自前で用意する部分のメンテナンスがたいへん

サービス全てがクラウドな訳ではない（が利用者には関係ない）

学内専用サイトに学外からアクセスのニーズ

オンライン講義開始→「学外から」需要が急増

IPアドレスベース認証からクラウド活用へ変化せざるを得ない

これらはクラウドゲートウェイに任せたい

学認クラウドゲートウェイサービスへの期待

「大学の抱えている課題」 (再掲)

- ◆ 教職員がそれぞれクラウドと契約して利用、大学として利用状況が把握できていない
- ◆ 契約・連携している外部サービスの広報不足で、活用されていない
- ◆ 利用できるサービスが多すぎて覚えられない

<https://cloud.gakunin.jp/cgw/> より

情報担当としてはどれも **「YES」**

学認クラウドゲートウェイサービスへの期待

「大学の抱えている課題の解消」

- ◆ 教職員のクラウド契約をある程度把握しつつ
利用しやすいサービスに誘導
- ◆ 契約・連携している外部サービスが一目でわかる
- ◆ 利用できるサービスを一覧表示
- ◆ 運用管理側の負担軽減
- ◆ 「学内専用」サービスをセキュアに提供

学認クラウドゲートウェイサービスへの期待

これからの期待

利用のためのベースとなる情報提供・共有

プライベートサービスの活用

学認クラウドゲートウェイサービスへの期待

利用のためのベースとなる情報提供・共有

48大学・機関が利用…**さまざまなノウハウ**

- 他大学の学認 C G W を見る機会が少ない
- 新規導入大学はどこからやっていいのか悩む？

存在を知らないのか、知っているけど踏み出せないのか
先駆した大学はどのように進めたのか

● **情報交換の場**

(これは情報担当であればどのサービスでも同じ)

学認クラウドゲートウェイへの期待

プライベートサービスの活用

学認SP以外との接続

- ⇒「ここに行けば使える資源は全部入ってる」がベター
- ⇒利用者の満足・問合せ減少による業務量改善
- オンプレでもひとまずゲートウェイに入れてしまう

自分のよく使うサービスを入れる

- ⇒メールを開けるように、朝一番に開くページにできないか

「“学認クラウド”だからSPだけ」だとモッタイナイ